資料活用委員会（小・社）

校長	島田　学（散田小）　有賀　康美（恩方第二小）
副校長	皆川　伸一（第四小）　川原　清子（恩方第二小）
委員	渡辺　大介（第三小）　高関　駿（散田小） 相河　銀次郎（散田小）　増島　浩平（元八王子小） 篭嶋　迅（陶鎔小）　友田　詩子（由木中央小） 小松　圭太（由木東小）　五味　伸悟（秋葉台小） 藤井　桂子（下柚木小）

令和７年度の活動

・「指導の手引き」の改訂

・改訂デジタル版副読本を使用した授業

・副読本掲載資料の更新





「わたしたちのまち」のデジタル化

令和４年度
・「わたしたちのまち」のデジタル化作業

令和５年度
・デジタル版「わたしたちのまち」の使用開始
・令和６年度にかけて紙面の大幅な改訂作業

令和７年度
・改訂デジタル版の使用を開始

改訂デジタル版副読本の特色

デジタル端末の画面に
合わせた紙面構成への
変更





当初デジタル版（３年）

★ 調べ考える ★
農家でつくられた野菜などの作物は、どのようにしてわたしたちのところに届くのでしょうか。

●野菜が届くまで



「スーパーマーケットで八王子産の野菜を売っているのを見たことがあるよ。」



1 しゅうかくする



2 出荷のじゅんび



3 各地の八百屋やスーパーマーケットで売られる



4 まちの中の直売所



農家の中西さんの話

夕方には、野菜がスーパーマーケットや八百屋さんに届けられます。みなさんに新せんでおいしい野菜をたくさん食べてほしいです。

●農家の人の思い

けんたさんたちは、さいごに中西さんに農業についての思いを聞きました。

農協（農業協同組合　ＪＡ）
農家どうしで協力して、機械やひりょうなどを買ったり、作物を売ったりして、おたがいに助け合うしくみ。



農家の中西さんの話

さいきん、農家を「やりたい」というわかい人が少なくなり、農家の数がへってきています。だから、農協やほかの農家さんとも協力し合って、さまざまな取り組みをしています。
たとえば、新しい野菜をつくったり、新せんでおいしい八王子産の野菜をお客さんにたくさん食べてもらえる場をつくったりしています。
また、農家の仕事を体験してもらったり、わかい人たちに教えたりもしています。
みなさんも、農家の仕事にきょうみをもってくれたらうれしいです。



6 学生へ農業指導



7 ＪＡのお店



8 新しくつくっている果物 パッションフルーツ



「農家の人がいなくなってしまったら、おいしい野菜は食べられるのかな。」



「農家の人の努力や、地元の作物のよさを、多くの人に知ってほしいな。」

●学習問題に対する考えをまとめよう



農家の人の工夫を出し合ってみましょう。

★ まとめる ★
農家の人の仕事について、考えたことをまとめましょう。

学習問題に対する考え（例）
農家では、土づくりをしたり、季節に合わせた育て方をしたりさまざまな工夫をして、たくさんの野菜をつくっている。その野菜は、新せんなままわたしたちのもとへ届けられている。

さいごに学習したことをほかの人に知らせるために、新聞やパンフレットにまとめよう。



★ 調べ考える ★

農家で作られた野菜などの作物は、どのようにしてわたしたちのところに届くのでしょうか。

改訂デジタル版



1 しゅうかくする



2 しゅっかのじゅんび



3 市の青果市場へ運ぶ



4 各地の八百屋
スーパーマーケットで売られる

●野菜が届くまで



「スーパーマーケットで八王子産の野菜を売っているのを見たことがあるよ。」



5 まちの中の直売所



青果市場は、ふつうのお客さんではなく、お店の人が野菜などを仕入れに来る場所だよ。今は「せり」をしているね。



農家の中西さんの話

夕方には、野菜をトラックで市場へ運び、そこからスーパーマーケットや八百屋さんにとどけられます。みなさんに新せんでおいしい野菜をたくさん食べてほしいです。

当初デジタル版（４年）

★ 調べ考える ★

八丈島で水産業はどのように行われているのでしょうか。



1 八丈島ではたらいている人の仕事（人）

4 ムロアジ



5 トビウオ



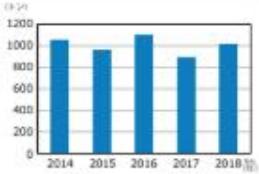
6 漁のようす

江戸時代	あみでムロアジ・イワシをとる
明治時代	かんづめづくりが始まる
大正時代	ムロアジ塩干しづくりが始まる
昭和時代	港が整備される
平成時代	島内４つの漁協が一つになり八丈島漁協ができる

2 八丈島の漁業のうつりかわり

海流
地球規模で起きる海の流れ。大きく暖流（あたたかい流れ）と寒流（つめたい流れ）がある。日本のまわりには黒潮（日本海流）、対馬海流という暖流とリマン海流、親潮（千島海流）という寒流がある。

水産業
魚をとり、加工すること。八丈町では魚をくさやなどに加工することが多い。



3 八丈島でとれた魚の量の変化
※八丈町勢要覧2019より作成

「昔から漁をしているね。漁師さんは危険ととなり合わせの仕事をしているんだね。」

「ぼくたちも八丈島でとれた魚を食べているのかな。」

●八丈町の水産業

八丈町では水産業をして生活を送る人がいます。どんな思いや願いをもって生活しているのか考えてみましょう。

漁師さんのお話

八丈島の近くの海には黒潮というあたたかい海流が流れていて、魚が集まるよい漁場です。しかし最近は魚のとれる量がへっています。そこで魚の資源をかくほするために、とる数を決めたり、禁漁期間（漁をしない期間）を決めたりしています。漁師の数はへっていますが、島外から来て働いている人もいます。おいしい魚をこれからもとっていきたいです。

漁協女性部の方のお話

魚が傷むのが早く、食べられないで捨てられていること、八丈町の子が魚をあまり食べていないことから給食で八丈町の魚を出したいと思うようになりました。栄養士さんたちや東京都の人の協力を得て、工夫をして給食に出せるようになりました。東京でとれた魚を東京の子どもたちに食べてもらいたいと思っています。



7 ロペの入ったスタンド花



8 ロペのしゅうかくのようす：大きくなると鉢花として出荷する

★ 調べ考える ★

八丈町で農業はどのように行われているのでしょうか。



9 ロペの切り葉：長さをそろえている。



10 ロペ農園のようす：ネットをはり、風をよけている。



「フェニックス・ロベレニー？？この葉はどこかで見たことあるかもしれないな。」

フェニックス・ロベレニー農家さんの話

八丈町は気温と降水量がフェニックス・ロベレニー（ロベ）が育つのにちょうどよい場所にあります。八丈島よりも南にいくと大きく育ちすぎてしまい、北にいくと育ちにくくなってしまいます。また空港があるので、多くの人がいる東京にすぐ届けることができます。注文の翌日には届けられます。日本国内のロベの90%以上は八丈町産です。

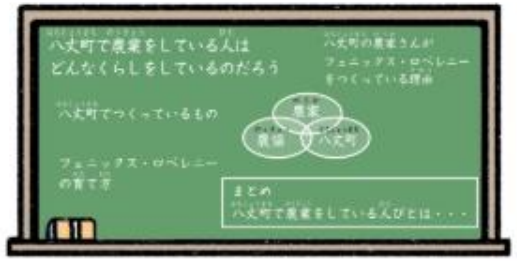
しかし、八丈島は台風の被害にあうこともあります。そのための対策もしています。

●八丈町の農業

八丈町の農家の人は、農協や八丈町役場の人と協力しています。農協では大きさや長さといった規格を決めて共同で出荷をし、少ない量でも出荷できるようにしています。八丈町では、新しく農業を始める人への支援もしています。

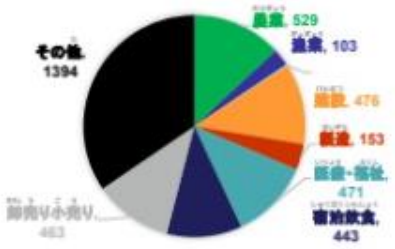


11 八丈島でつくられている作物（トン）



★ 調べ考える ★
八丈島で水産業はどのように行われているのでしょうか。

八丈町ではたらく人の仕事（人）



1 八丈町ではたらいている人の仕事

漁の年表

江戸時代	あみでムロアジ・イワシをとる
明治時代	かんづめづくりが始まる
大正時代	ムロアジ塩干しづくりが始まる
昭和時代	港が整備される
平成時代	島内4つの漁協が一つになり八丈島漁協ができる

2 八丈島の漁業の年表



3 ムロアジ



4 トビウオ



5 漁のようす

「昔から漁をしているね。漁師さんは危険ととなり合わせの仕事をしているんだね。」





「とった魚はぼくたちの住んでいる八王子市と関係があるのかな？」

●八丈町の水産業

八丈町では水産業をして生活を送る人がいます。どんな思いや願いをもって生活しているのか考えてみましょう。

漁師さんのお話

八丈島の近くの海には黒潮というあたたかい海流が流れていて、魚が集まるよい漁場です。しかし最近は魚のとれる量がへっています。そこで魚の資源をかくほするために、とる数を決めたり、禁漁期間（漁をしない期間）を決めたりしています。漁師の数はへっていますが、島外から来てはたらいている人もいます。おいしい魚をこれからもとっていきたいです。

漁協女性部の方のお話

魚が傷むのが早く、食べられないで捨てられていること、八丈町の子が魚をあまり食べていないことから給食で八丈町の魚を出したいと思うようになりました。栄養士さんたちや東京都の人の協力を得て、工夫をして給食に出せるようになりました。東京でとれた魚を東京の子どもたちに食べてもらいたいと思っています。

海流
地球規模で起きる海の流れ。大きく暖流（あたたかい流れ）と寒流（つめたい流れ）がある。日本のまわりには黒潮（日本海流）、対馬海流という暖流とリマン海流、親潮（千島海流）という寒流がある。

水産業
魚をとり、加工すること。八丈町では魚をくさやなどに加工することが多い。



6 八丈島でとれた魚の量の変化
※八丈町町勢要覧2019より作成

改訂デジタル版

「指導の手引き」の改訂

課題

・国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料に準拠させること

・それに伴う評価観点の見直し



「指導の手引き」の改訂

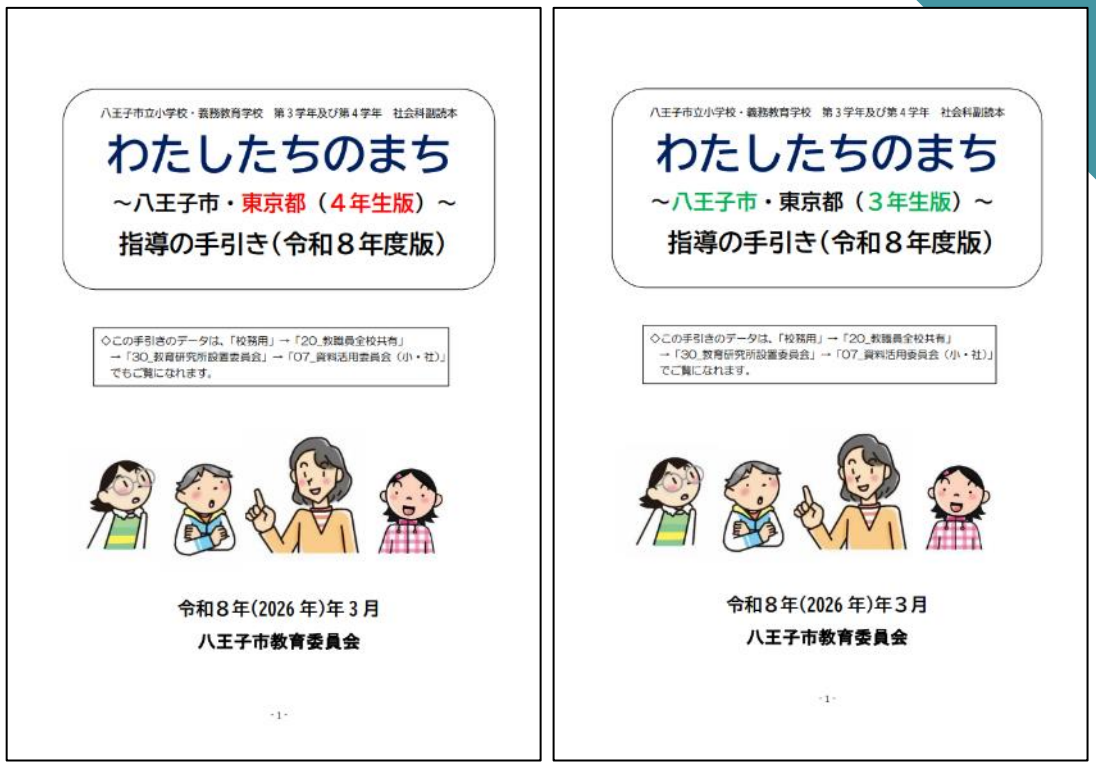
例　単元目標の記載

Ａについて、Ｅなどに着目して、（問いを見出し）　…思・判・表①
Ｃなどで調べ、Ｄなどにまとめ、Ｆを捉え、　…知・技①
Ｇを考え、表現することを通して、　…思・判・表②
（Ａについての）　Ｂを理解 できるようにするとともに、　…知・技②
主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。　…態度①

「指導の手引き」の改訂

「指導の手引き」保管場所

Fileshare→教職員全校共有
→教育研究所設置委員会
→資料活用委員会（小･社）
→令和8年度「指導の手引き」



デジタル副読本を使った授業

令和７年11月27日（木）　由木東小学校　第３学年

単元名「地いきの安全を守る働き」
小単元名「事故や事件から人びとを守る」
教材　　：本紙　P.59～64
活用の仕方：事故や事件が起きた時、警察官たちは
　　どんな対処をしているかを調べる。

デジタル副読本を使った授業

令和７年12月　9日（火）散田小学校　第４学年

単元名　「東京都に伝わる祭りと、地いきの発展につくした人びと」
小単元名「地いきの発展につくした人びと」
教材　　：本紙　P.77～84
活用の仕方：復興公園の建設について調べ、後藤新平らの取組を捉える。

資料の情報を読み取る場面（第３学年）



見出された課題

○端末の扱い方についての指導

○「問い」に対して、紙面だけで解決できるようにする

○ノートや教科書との併用の在り方

資料を使って個々が調べる場面（第４学年）



見出された課題

○ページによる情報量の
　偏りの是正

○補助資料の整備

次年度以降の取組

・年間指導計画（指導の手引き）の見直し
　※年間指導計画を改訂した後、新学習指導要領の
　　動向を見ながら、本編の大改訂を行う。

・補助資料の収集と整理、活用

ありがとうございました